



文：小川 康成

さよなら「家族限定特約」

足早に秋が過ぎ去り、コートが欲しい時期になってきました。風邪などひかれていないでしょうか？ 寒さに体が慣れていない時期なのでご慈愛下さい。



さて、今月は“自動車保険に関するお話”です。

日本の自動車保険は大正3年（1914年）から数えて、今年で104年目を迎えました。



発売当時、国内には自動車が1,000台程度しか存在せず、非常に高価な物に対する物補償（車自身の損害）に重点を置かれた保険だったようです。104年の歴史の中で、1970年から48年に渡って続いた、運転者限定「家族限定特約」がついに来年姿を消すことになりました。



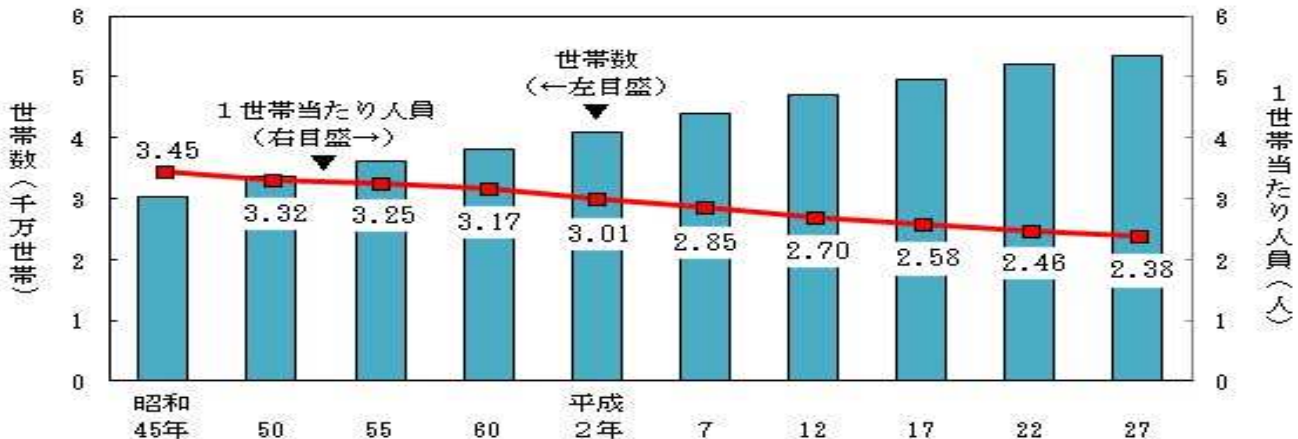
背景には、進む日本の人口減少と核家族化があります。

総務省統計局の調べによりますと、昭和45年に1世帯当たりの平均人員は3.45人でした。45年後の平成27年には、1世帯当たりの平均人員は2.38人と世帯規模の縮小が続いており、この傾向は止まる気配がありません。

世界の歴史を見ても、都市に人口が集中し始めると出生率が下がるという共通傾向があり、人口減少が伴って引き起ります。



世帯数及び1世帯当たり人員の推移（昭和45年～平成27年）



総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/info/today/106.html> より

出生率についても、第1次ベビーブームの昭和24年（1949年）が出生数270万人、出生率4.32人であったものが、67年後の平成28年（2016年）には出生数98万人、出生率1.44人と実に3分の1に下がっています。



このような人口（世帯）の移り変わりの中で、家族限定割引率は5%⇒3%⇒1%と下げて来ましたが、2019年1月改定時ついにその姿を消すことになりました。

これからは、核家族・単身世帯に対応した「本人限定特約」が、各社で新たに新設され8%という大きな割引が適用されます。2019年1月以降の自動車保険更新時には、こうした限定の改定等を含め確認し、無駄なく保険に加入出来るよう、色々なニーズを確認しご提案いたします。

メンバー 近況報告

自転車盗難？！

岩瀬 英之

先日、自転車で地元の友人のところへ遊びに行き、そこから友人とサイクリングに行こうと計画して出かけました。ところが、友人の家に行くと「二日酔いだから、今は出かけられない」と言われ、家で待たされることに…昼過ぎになってようやく回復したようで友人が出かける気になりました。いざ、出発しようと準備して、駐輪場へ行くと「自転車がない」と言い焦って、いつも置いているところだけでなく、駐輪場内全てを探しましたが、どこにもありませんでした。とても気に入って買ったロードバイクだったようでかなり落ち込んでいました。とりあえずサイクリングを中止して、交番に盗難届を出そうということになりました。

ところが、交番に向かう途中、駅の前を通るとなんとなく見覚えのある自転車が…よくよく思い出してみると酔いすぎ押しして帰るのも大変で、自転車を置いて歩いて帰ったのを忘れていただけでした。自転車があって良かったですが、半日無駄にしてしまいました。これからの時期、忘年会などお酒を飲む機会も増えるかと思えます、忘れ物や落とし物には十分注意しないといけないと改めて思いました。



りんご狩り

伯母がりんごの木オーナー制度に登録したので、先月収穫に行ってきました。長野県まで車で行ったのですが、長野県は思っていたよりも遠かったです…。自分で運転していたら途中で力尽きていたかもしれせん。

到着すると愛知県とは違い、とても寒かったので急遽薄手のダウンジャケットへ上着を着替え、りんご狩り会場へ。

木1本まるごと採れるので、段ボール箱を5箱程持っていきました。まずは下から採っていき、上の方は脚立を使って採りました。脚立に上ってみたら意外と高く、しかも地面が若干斜面になっていたため下で脚立が倒れないように下で支えてもらっていましたが、怖くてすぐに降りてしまいました(*_*;

Before



After



りんご狩りを終えた後には豚汁が用意してあるとのことだったので、みんなでもらって食べることに。野菜がたっぷり入っていてとても美味しかったです。

帰りにはちょうど駅伝の人達が走っており、車の中から応援しつつ調べてみると長野県縦断駅伝競走だったようで、飯田市がゴールだったからか沿道の応援の人たちも沢山いました。

帰ってからみんなでりんごを分けたのですが、箱にいっぱい貰ったので、しばらくの間は蜜柑や柿よりもりんごを優先的に食べることになりそうです。

小池奈菜子

読書

小川とも子

最近、新聞の広告で吉沢久子さんの本が紹介され、本のプレゼントがあったので応募しました。

ところが、当選していないのか？送られて来ませんが、内容が気になり読みたかったので、先日本屋さんへ買いに行きました。ですが、題名をしっかりと覚えていないので、店員さんに

「吉沢久子さん著者の本で、100歳なんとかと言う題名の本は？」と聞いたら「この方の本は、題名全てに100歳が付きます」と言われ、陳列棚へ案内して貰い、その中で「100歳。今日も楽しい」を購入しました。吉沢さんは、現在103歳になられましたが、一人暮らしをしています。

それで、一人暮らしを寂しいと嘆くのではなく、自由な時間を楽しむようにしてみえます。そんな先輩の生き方を少しでも参考にしようと思って読みました。その中で「いつも楽しいと思う気持ちでいるから年をとらないんですむんでしょね」「小さな喜びで日常を満たす幸せ。喜びの種はすぐそばにあります」「自分でできることは自分です。楽なほうに傾かない努力も必要です」「大好きなこと、夢中になれることがあると生きていく上で、とても心強い」と言っています。

吉沢さんは歩くことがだんだんできなくなってきましたが、庭に出てお花を虫眼鏡で観察したり、小鳥が飛んでくると双眼鏡でそれを調べたり、色々な事に興味を持って生活していらっしやいます。また、ほかに日常生活の中でいろいろと努力してみえます。これからの人生、私も参考にしたいと思う事がたくさんありました。よろしければ、皆さんも読んでみて下さい。

